

「ムリ」はなくそう、 「ムチュウ」になろう!

改革を推進する5つの柱



わたしたちが「自分らしく」働ける
新しい働き方を目指します

一宮市では、2028年度までに1か月の時間外
在校時間が45時間を超える教員を0%にする
ことを目標にしています

【概要版】 2026年度 業務量管理 健康確保措置 実施計画

子どもたちとわたしたちの
ウェルビーイングのために

一宮市立小中学校働き方改革ロードマップ

2026年4月 一宮市教育委員会

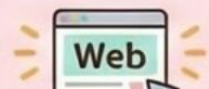
子どもたちとわたしたちのウェルビーイングのために

みんなが笑顔になれる学校へ! 一宮市・働き方改革ロードマップ2026

一宮市教育委員会では、先生が心も体も元気で、子どもたち一人ひとりの個性を温かく見つめる時間を大切にしたいと考えています。2026年度は、その思いを形にし、子どもたちにより良い教育を届けるために、5つの柱で改革を推進していきます。

1. 意識改革： みんなで進める働き方改革

教育委員会の取組



ウェブサイトに働き方改革のバナーを掲載し、情報発信

学校の取組



保護者への協力を依頼、教師の魅力を発信

評価指標：学校ウェブサイトにバナーがあるか

4. 業務改善： 一人で抱え込まない相談体制

教育委員会の取組



電話対応マニュアルを整備

学校の取組



管理職や弁護士への相談

評価指標：上司への随時相談

2. 職場環境： チームで支え合う体制づくり

教育委員会の取組



専科教員を配置、教科担任制（チーム制）の推進

学校の取組



チーム制やローテーション制を効果的に運用

評価指標：組織として対応する体制があるか

3. 部活動改革： 地域と連携した新しいカタチ

教育委員会の取組



地域展開を進め、新しいカタチへ

学校の取組



平日部活動の在り方を検討

評価指標：指導の負担感と前向きな参加

5. 外部人材の活用： サポートスタッフとの協力

教育委員会の取組



SSS、ラーケーション非常勤講師を全校配置

学校の取組



授業補助や事務を依頼

評価指標：教員の支援に繋がっているか

わたしたちが「自分らしく」働くために